

2 森林環境教育用教材の活用・配布 

(1) 創作紙芝居及び絵本を活用した森林環境教育

森林環境教育用教材として、創作紙芝居・絵本『雨水のぼうけん』『もくざいのヒミツ』をHPで公開しています。

また、手元に絵本が無くとも活用してもらうためにYoutubeに2作品の音声及びBGMをつけた動画も公開しています。

『雨水のぼうけん』については、より多くの方々に活用していただくように英語版も公開しています。

現在、2作品は地域のイベントや近畿中国森林管理局のイベントで使用され、多くの親子連れに好評を得ています。



【資料-5 雨水のぼうけん】



【資料-6 英語版の雨水のぼうけん】



【写真-16 局での紙芝居】



【写真-17 イベントでの紙芝居】

(2) 森林環境教育手引書（小学校編）の活用

森林環境教育を始めてみたい、森林環境教育をしたいがどのようなプログラムをすればいいのか分からないという小学校の教職員の方に向けて作成しているのが森林環境教育手引書（小学校編）です。教科・学年別に多くのプログラムが掲載され、資料用に DVD も付属しており、森林環境教育の実施に必要な資料が一冊にまとめられたものとなっております。

当書は、令和 2 年度の学習指導要領改訂に伴い、教育関係者による検討委員会により改定が行われ、現在は 2,200 部が全国の教育大学、教育委員会等で活用されています。



【資料-7 森林環境教育手引書】



【写真-19 手引書を利用した環境教育】

3 森林環境教育の実践

(1) 出前授業

① YMCA 高等学校

10月17日(火)に、大阪市天王寺区にあるYMCA学院高等学校で森林の単元を学習している学生に、森林に関わる仕事の一つとして職業紹介を行いました。YMCA高等学校への職業紹介は毎年行っており、今年度も学園の方から依頼があり赴きました。今年度の特別講習では、林野庁がどのようなことを行い、森林の公益的機能発揮に貢献しているか、近畿中国森林管理局に採用されるまでの流れ等を紹介しました。



【写真-20 YMCA 高等学校講義】

② 大阪市立新森小路小学校

令和6年2月22日(木)に、新森小路小学校から依頼があり、小学5年生(3クラス、76人)を対象に森林教室を行いました。

今回の森林教室は5年生の森林の単元の定着と共に、あまり森林と触れ合ったことの無い大阪市内の子どもたちに森林を身近に感じてもらうことを目的に行いました。

冬ということもあり、寒く、植物の特徴もわかりにくい為、今回の森林教室では体育館で生物について知ることが出来るネイチャーゲーム(ヒントリレー)を行いました。バラバラになったヒントを集め、そのヒントから動物や植物を当てるヒントリレーを子どもたちは各々の知識を生かし話あいながら楽しそうにゲームに参加していました。



【写真-21 大阪市立新森小路小学校】

また、ゲームの後の講話では、先ほどのゲームに出てきた動物等を絡めながら話をしました。子どもたちは、こどもたちは、「木を使用するのは良いこと？悪いこと？」という質問には、授業で習ったことを元に各々の答えを伝えてくれました。箕面国有林の話では、行ってみたい、行ったことがある等多くの子が声をあげ、参加をしながら講話を楽しんでくれました。

また、ゲームの後の講話では、先ほどのゲームに出てきた動物等を絡めながら話をしました。子どもたちは、こどもたちは、「木を使用するのは良いこと？悪いこと？」という質問には、授業で習ったことを元に各々の答えを伝えてくれました。箕面国有林の話では、行ってみたい、行ったことがある等多くの子が声をあげ、参加をしながら講話を楽しんでくれました。

③ 奈良市立東市小学校

令和6年3月1日（金）に、奈良市立東市小学校から依頼があり、小学5年生（1クラス26人）を対象に森林教室を行いました。

今回の森林教室は、小学5年生に森林の単元があるため森林に親しみを持って貰うこと共に、農林水産省について少しでも知ってもらうことを目的として行いました。

今回の森林教室では、最初にジュニア農林水産白書を使い、小学生にも理解できるよう林業についてお話し

をしました。次に箕面森林ふれあい推進センターが里山の自然再生を目的にして、箕面国有林でオオクワガタの棲める森づくりを行っていること等を具体的にお話ししました。ふれあいセンターが作った創作紙芝居について話すと、見たことがあると言ってくれた子もいました。

その後、子どもたちにはネイチャーゲームをやらしてもらいました。背中に動物の写真をつけて、何の動物かヒントを聞きまわるネイチャーゲーム（動物交差点）をしながら動物について親しみをもってもらい、楽しみながら生物についての知識を深めてもらいました。



【写真-22 奈良市立東市小学校】

1 森林とのふれあいを目指した取組

(1) 森林ふれあい推進事業

「国民の森林」として、森林での環境教育活動や体験活動など国民の福祉の増進等に寄与する活動として、森林への関心・理解を高めることを目的に「森林ふれあい推進事業」を実施しています。箕面国有林をフィールドとして事業を実施していただける団体を募集し、協定を締結して箕面森林ふれあい推進センターとの共催による事業を行いました。

① カブトムシ里親まつり（協定相手方：特定非営利活動法人 NPO クワガタ探検隊）

カブトムシの飼育を通じて命の尊さを学ぶイベントとして、「カブトムシ里親まつり」を令和元年度から実施しています。参加いただいたご家族に、箕面市生まれのカブトムシ（成虫ペア）をお持ち帰りいただき、ご家庭で飼育していただくとともに、その成虫が産卵したら箕面国有林に放虫していただくというもので、今年度は8月6日に飼育編、10月15日に放虫編を開催し、合わせて11家族23名の皆さんにご参加いただきました。

また、8月6日の飼育編とあわせて昆虫ベッドの整備を行いました。昆虫ベッドとは、カブトムシの幼虫の生育場所となるように腐葉土を敷き詰めた空間で、イベントにご参加いただいた皆さんと一緒に、環境改善のため土の入れ替えを実施しました。

さらに、今年度は飼育編と放虫編以外に、カブトムシが好む樹液場を増やすため12月10日に植樹まつりを行い、2家族4名の方にご参加いただきました。イベント当日は日本森林ボランティア協会の方々にもご協力いただき、コナラ20本を箕面国有林に植樹しました。



【写真-23 カブトムシとのふれあい】



【写真-24 植樹の様子】

Ⅲ 森林・林業・木材利用に関する広報・普及活動

② 森林セラピー体験（協定相手方：NPO みのお山麓保全委員会）

箕面の森林に親んでもらうことを目的に、「みのお森のセラピー」を開催しました。

今年度は11月5日（土）に勝尾寺園地で開催し、5名の方にご参加いただきました。参加した皆さんには、紅葉を楽しみながらの散策、そのあとは、ヒノキ林の中に設置されたハンモックに揺られて森林の爽やかな空気を味わっていただきました

参加者からは、「今まで木に直接触れたことが無かったので、貴重な経験になった。」「森林から元気もらった。」など、いつもとは少し違う時間を過ごせたとの感想をいただきました。



【写真-25 ハンモックに乗る参加者】



【写真-26 香り袋作成】

(2) 森林を素材にしたイベント（草木染め体験イベント）の開催

箕面国有林の森林整備で伐採したエドヒガン（サクラ）の有効活用及び一般の方の森林に対する理解を深めることを目的として、12月17日（土）に近畿中国森林管理局1階で「サクライロをつくろう～草木染め体験～」を開催しました。

このイベントは約2年前から準備を進めていましたが、令和2年度と令和3年度は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたため、ようやく開催することが出来ました。

当日は、兵庫県の一庫公園で活動されている「ひとくらす草木染め森遊工房」から3名の講師に来ていただき、10家族26名の方にご参加いただきました。参加者からは、「布に模様を付けるのが難しかったけど、お気に入りの柄が作れた」「きれいなピンク色に染まって驚いた」などの感想をいただきました。



【写真-27 染料の桜の枝】



【写真-28 模様付け】



【写真-29 染色中】



【写真-30 完成品】



2 冊子活用状況

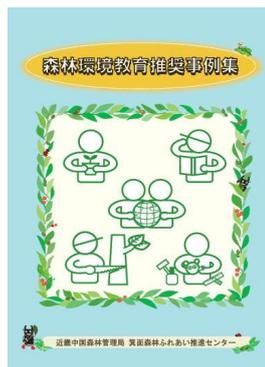
発行済冊子一覧



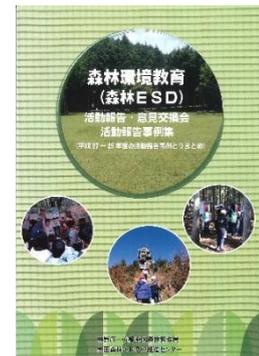
教科書にのっている！植物図鑑



森林環境教育手引書〈小学校編〉



森林環境教育推奨事例集



活動報告事例集



『雨水のぼうけん』絵本版



『もくざいのヒミツ』絵本版

森林環境教育手引書〈小学校編〉及び森林環境教育推奨事例集の配布状況

配布月	府県	配布先	配布物
2021年 4月	奈良県	近畿大学	手引書・森林環境教育推奨事例集・森林ESD活動報告事例集各10部
2021年 7月	全国	各関係機関 図書館等	『雨水のぼうけん』絵本版 200冊追加印刷 うち100部配布
2022年 1月	全国	各関係機関 図書館等	『もくざいのヒミツ』絵本版 200冊印刷
2022年 3月	全国	管内2府12県 市町村の教育 委員会 各関係機関等	新版・森林環境教育手引書 2,000部印刷 うち1,100部配布
2023年 9月	全国	各関係機関	手引書 1,000部増刷、新たに1,300部配布 『もくざいのヒミツ』100冊、『雨水のぼうけん』90冊
2024年 3月	全国	各関係機関	『環境教育手引書』 24冊配布 『雨水のぼうけん』絵本版 51冊配布 『もくざいのヒミツ』絵本版 46冊配布

3 情報発信

(1) 活動紹介（「森林（もり）のギャラリー」）

令和5年5月1日～5月30日に当センターの各種取組について パネルで紹介展示を行いました。

(2) こだま通信

NO.122～NO.124 を発行し、箕面森林ふれあい推進センターの取組状況について情報発信を行いました。

こだま通信 No.122

森林環境教育実践研修

6月14日(水)～16日(金)の3日間、近畿中国森林管理局及び地方自治体の職員を対象として森林環境教育実践研修が行われ、局の職員4名、兵庫県丹波市の職員1名の計5名が参加しました。この研修は森林環境教育の概論から実践までを学び、各々で野外活動の企画をし発表してもらうプログラムです。

箕面国有林では、当センターで設定した森林環境教育プログラム「森の探検隊」の体験や、森林環境教育の実践として大阪森林インストラクター会による野外ゲーム体験を行いました。研修生の皆さんには、子どもたちと同じ目線で考えたり、講師からの解説に耳を傾けるなど、熱心に学んでいました。

最終日の野外活動プログラム企画では、短期間の研修でこれからプログラムを作るのは大変でしたが、研修生の皆さんはそれぞれ違ったアプローチから企画を作成し、研修の成果が感じられる野外活動プログラムとなりました。当センターでは、今後も森林環境教育の指導・普及等に取組んでまいります。



森の探検隊「池があるぞ！」

森の探検隊「ツツクらの大木（木の大きさをはかってみよう）」

野外ゲーム「ここぞうどどこぞ？」

野外ゲーム「森の色あわせ」

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL: 050-3160-6745/FAX: 06-6881-2955
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp
当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.122 page2

こだま通信
Kodama Communication R5.10 No.122

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター

「山とみどりのフェスティバル」に出展！！
～木の葉のしおりづくりを体験～

4月23日(日)、みのおキーズモール(箕面市)において、みのお山麓保全委員会主催の「山とみどりのフェスティバル」が開催され、当センターは箕面の森林を感じてもらう取組として、「木の葉の葉(しおり)づくり体験」を出展するとともに、森の働きが学ぶことができる紙芝居を上演しました。当日はときおり風が強く吹き、展示物などが飛ばされるほどの悪天候でしたが、会場には1,840名の方が来場されました。

しおり作り体験では、箕面を代表する「イロハモミジ」や「ヒメキ」「ウリハダカエデ」「クスノキ」の葉っぱの中から好きなものを選び、世界に一つだけのしおり作りを体験しました。参加者からは「新緑を感じることができ良い思い出になりました。」「さっそく本に挟んで使います。」「などの声を頂きました。

また、ステージにおいて、職員が作成した創作紙芝居「雨水のぼうけん」と「もくざいのヒミツ」を計3回上演し、たくさんの子どもたちが観てくれました。

当センターでは、引き続きこのようなイベント等への参画を通じ、より多くの皆様に森林・林業の大切さを普及する取組を進めて参ります。



「しおり」にする葉っぱを選ぶ参加者

「しおりづくり」に参加する親子連れ

創作紙芝居「もくざいのヒミツ」

こだま通信 No.122 page1

こだま通信 No.123

こだま通信 Kodama Communication R.5.12 No.123

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

近畿大学の国有林視察を受け入れました！！

6月22日(木)、近畿大学農学部から33名(学生29名、院生2名、教授2名)が箕面国有林を視察しました。具体的には、都市近郊林にある箕面国有林における人工林施業、シタ被害防止対策及び森林環境教育の取組について理解を深めるため、京都大阪森林管理事務所と箕面森林ふれあい推進センターから説明を受けました。

森林環境教育では、まず森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験してもらいました。この「森の探検隊」は、森の中のポイントを5〜6人に班で探検し、各ポイントの指令を班全員で考え答えを導き出すプログラムで、学生には2つのグループに分かれて、探検ポイントを5つほど回り指令書の問題を自分なりに考えてたどり着きました。学生からは、「大学生でも楽しめるポイントがたくさんあった」「シタ対策のポイントは実際に見ることが出来て勉強になった」等の感想をもらいました。

次に、シタ被害防止対策では、くくり罠設置の体験をしてもらいました。大阪府猟友会箕面支部の中垣氏(捕獲従事者)からくくり罠の設置方法や安全対策など実践を交えた説明を受けた後、学生たちはいくつかのグループに分かれ実際にくくり罠を設置し、捕獲したときの作動などを確認してもらいました。学生のほとんどが初めての体験だったため、罠の設置場所や効率的な捕獲方法、さらにはジビエに利用する場合の捕獲時期など多くの質問が出され、関心が高いこと気づかれました。

ふれあいセンターでは今後、国有林における取組について理解を深める機会を積極的に作ってまいります。



「森の探検隊」の体験
くくり罠の設置体験
学生による視察の様子

こだま通信 No. 123 page1

「山とみどりのフェスティバル」に出品しました

6月22日(木)、近畿大学農学部から33名(学生29名、院生2名、教授2名)が箕面国有林を視察しました。具体的には、都市近郊林にある箕面国有林における人工林施業、シタ被害防止対策及び森林環境教育の取組について理解を深めるため、京都大阪森林管理事務所と箕面森林ふれあい推進センターから説明を受けました。

森林環境教育では、まず森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験してもらいました。この「森の探検隊」は、森の中のポイントを5〜6人に班で探検し、各ポイントの指令を班全員で考え答えを導き出すプログラムで、学生には2つのグループに分かれて、探検ポイントを5つほど回り指令書の問題を自分なりに考えてたどり着きました。学生からは、「大学生でも楽しめるポイントがたくさんあった」「シタ対策のポイントは実際に見ることが出来て勉強になった」等の感想をもらいました。

次に、シタ被害防止対策では、くくり罠設置の体験をしてもらいました。大阪府猟友会箕面支部の中垣氏(捕獲従事者)からくくり罠の設置方法や安全対策など実践を交えた説明を受けた後、学生たちはいくつかのグループに分かれ実際にくくり罠を設置し、捕獲したときの作動などを確認してもらいました。学生のほとんどが初めての体験だったため、罠の設置場所や効率的な捕獲方法、さらにはジビエに利用する場合の捕獲時期など多くの質問が出され、関心が高いこと気づかれました。

ふれあいセンターでは今後、国有林における取組について理解を深める機会を積極的に作ってまいります。



「山とみどりのフェスティバル」の出品
くくり罠の設置体験
学生による視察の様子

こだま通信 No. 123 page2

こだま通信 No.124

こだま通信 Kodama Communication R.6.3 No.124

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

「山とみどりのフェスティバル」に出品!!

北摂の山々が暖色に変わり始め、人の気配を強く感じるようになった令和5年11月3日、明治の森箕面公園の羅安寺(ろあんじ)前広場において、「山とみどりのフェスティバル」(主催:箕面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会)が開催され、当センターは、箕面の森林を感じてもらおう取組として、「松ぼっくりフクロウ作り体験」を出展しました。

今年も例年と同じく好天に恵まれ、また、有名な箕面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや節日の外園の方など、多くの方が立ち寄られました。参加者は、様々な色や形の布を松ぼっくりに付け、自分だけのフクロウを作っていました。中には兄弟で参加し、大木の松ぼっくりを使って自分たちと同じような「兄弟フクロウ」を作ってくれた子もいました。

通りがかる人の中には、林野庁に知りがあり、展示していたパネルを見て当センターの趣意に興味を持って質問してくれる方もおりました。また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、当センター職員が作った創作紙芝居「雨水のぼけけん」と「もくぞいのヒメツ」を上演し、小さな子どもをはじめ多くの方々から好評を得ました。



「松ぼっくりのフクロウ作り」体験
できあがった「松ぼっくりのふくろう」

こだま通信 No. 124 page1

新森小路小学校で出前授業を行いました

令和6年2月22日(木)、大阪市立新森小路小学校の小学5年生(3クラス、72名)を対象にした森林教室を行いました。今回の森林教室では、冬ということもあり室内でできるネイチャーゲームを通して楽しく身近な森林について学んでもらう、5年生で学ぶ森林の単元の定着を促すことを目的として行いました。

当日は、最初にばらばらにされたヒントを元に動物や植物を当ててるネイチャーゲーム(セントラリー)を行いました。ゲームに出てくる動物、植物は全て近隣の森で見ることが出来る生物であり、楽しみながら森について少しでも親近感を持っていただく為に行いました。生徒たちは、「これは見たことあるよ!」等とヒントについて各々の知識を生かしチームで話し合いながら、答えを導き出していました。最後の結果発表では歓声を上げる程ゲームに熱中していました。

ゲームの後は、森林伐採について、身近な箕面の森についての話をしました。生徒たちは、職員「木を伐るのは悪いこと?良いこと?」等の質問に対して、森林の単元で習ったことを元に自分自身の答えを導き出し、箕面の山の紹介については「行ったことある」「この動物見たことある」と様々な声をあげて、楽しそうに参加していました。

「草木染め体験」のイベントを開催

令和5年12月3日(日)、大阪府北区の桜ヶ丘管合同庁舎において「サクライロつくろう〜草木染め体験〜」を行いました。このイベントは、箕面国有林に植栽したエドヒガン(江戸ヒガン)の良好な生育を促すため、除伐等の手入れを行った際に出た枝などの有効活用を目的として開催しています。

イベント当日は風が冷たい一日ではありませんでしたが、子どもから大人まで12名が参加しました。兵庫県から講師1名に来ていただき、参加者はビー玉やひもを使って布に模様をつけた後、講師のアドバイスを聞きながら板の枝から煮だした染料液で染める作業を行いました。作品を作り終えた参加者からは「きれいな色に染まって嬉しい。」などの感想が聞かれ、楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。



ネイチャーゲームに熱中
新森小路小学校で出前授業の様子
草木染め体験の様子

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL: 050-3160-6745/FAX: 06-6881-2055
〒530-0042 大阪府北区天満橋一丁目8-7-5 近畿中国森林管理局2F
URL: http://www.furuiha.jp/kinki/minno_fc/
E-mail: kc_furuiha@ff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No. 124 page2

(3) 近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」

No.1170、No.1172、No.1174 にふれあいセンターについての情報が載りました。

森のひろば No.1170 令和5年度9月号

箕面森林ふれあい推進センターの活動内容の概要と新たに設置したフェノロジーカレンダーが紹介されました。



森のひろば

No.1172

令和5年度11月号

箕面国有林で開催したイベント、カブトムシ里親祭りが紹介されました。

NO. 1172

シリーズ『国有林 最前線!』

『イベントの開催について』
箕面森林ふれあい推進センター

当センターでは、里山再生を目的として「オオクワガタの種（す）める森づくり」をコンセプトに、スギ、ヒノキの伐採跡地にクヌギやコナラ、エドヒガン（サクラの一種）などの広葉樹を植栽して、市民ボランティアの協力を得ながら森林整備に取り組んでいます。

また、参加者に森林に親しみ、自然の大切さを理解してもらうことを目的に各種イベントを行っています。



幼虫を観察



昆虫ベッド



放虫の様子

放虫された幼虫

その中のイベント「カブトムシ里親まつり」は、参加者が広葉樹林で生息するカブトムシの育成を手助けすることで上記の目的を達成してもらえようとしています。

今年も、10月15日（日）、箕面国有林内の「エキスポ'90みのお記念の森」において、森林ふれあい推進事業として「NPOクワガタ探検隊」と共催して開催しました。

当日は、8月に実施した同名イベントでカブトムシのペアを預かり飼育を任された「里親」を含む6家族18名が参加しました。

参加者は、「NPOクワガタ探検隊」のスタッフから「子供たちが森に親しみ、カブトムシの飼育を通じて、自然の大切さを感じてもらいたい」とイベントの趣旨の説明をうけた後、創作紙芝居の上演や、森林散策でクヌギやシイなどのドングリを見つけるなど楽しんだ後、育てたカブトムシの幼虫をエキスポの森内に設置している「昆虫ベッド」に放虫する作業を行いました。

大人も子供も一匹ずつ幼虫を受け取り、体の構造についてスタッフの説明に耳を傾けながら観察して、昆虫ベッドの上に置かれた幼虫が自分の力で土に潜り姿が見えなくなるまで見守りました。

参加者により昆虫ベッドに移された幼虫は、来年の夏には立派なカブトムシとなっていることと思います。

まだまだ通半ばですが、成林した広葉樹の森に子供たちの育てたカブトムシなどが多く生息するような里山づくりを地域の方々と一緒に進めていきます。

※昆虫ベッド：センターが設置した調土を敷き詰めカブトムシの生育に適した場所



記念撮影

8

森のひろば

No.1174

令和5年度1月号

近畿中国森林管理局で開催したイベント、草木染が紹介されました。

NO. 1174

分収造林契約締結式を行いました。

【森林整備】
近畿中国森林管理局では、令和5年12月5日（火）、局会議室において、広島建設株式会社との分収造林契約締結式を行いました。対象地は広島県神石郡神石高部町の新元置山国有林748い、ろ林小畑（広島北部署管内）の4.5720haです。



契約締結後の記念撮影

局長から「地球温暖化防止に向けたCO2吸収への貢献など、社会地域貢献のフィールドとして活用していただくため分収造林契約を締結しました。関係者の皆様が団結して、森林づくりを応援していただけることを心強く感じております。我々も企業における環境保全などの社会貢献を支援してまいります」と挨拶がありました。

広島建設株式会社は、木造住宅をはじめ、非住宅木造建築も手掛けておられる木材の需要者であり、森林を育てることを経験することで、地球温暖化防止対策や地域の森林整備に貢献し、森林・林業の普及啓発に寄与することができれば分収造林の契約を希望されたとのことであり、広島社は「今後、分収造林地を使ったイベントなどを計画していきたい」と話されていました。

今後とも近畿中国森林管理局では、国が伐採した跡地などの中から、森林の環境保全や地域貢献をしたいという皆様の要望に応えるため、分収造林契約の締結を推進してまいります。

草木染めのイベントを開催しました。

【箕面森林ふれあい推進センター】
令和5年12月3日（日）、近畿中国森林管理局においてイベント「サクライロをつくろう～草木染め体験～」を開催しました。



講師による染め方の説明

このイベントは、箕面国有林にて植栽したエドヒガンの良好な生育を促すため、除伐等の手入れを行った際に出た枝などの有効活用を目的として開催しています。

当日は、風が冷たい一日ではありませんでしたが、兵庫県から講師をお招きし、イベントには子どもから大人まで12名が参加しました。参加者はビー玉やひもを使って布に模様をつけた後、講師のアドバイスを聞きながら板の枝から煮だした染料液で染める作業を行いました。作品を作り終えた参加者からは「きれいな色に染まって嬉しい」などの感想が聞かれ、楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。



染めてすぐの布



完成した作品

3

1 運営推進懇談会（箕面森林ふれあい推進センター）

（1）趣旨

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林づくり活動や自然再生活動を行っているNPO団体等及び森林環境教育を推進している教育関係者等の要望を的確に反映した取組等を行うため、当センターの運営に関して、学識経験者、森林ボランティア活動を行っている者及びマスコミ関係者をメンバーとする懇談会を設置し、懇談会等からの意見及び要望等を反映させた対話型の取組、効果的かつ効率的な運営を推進しています。

（2）検討事項

- ア ボランティアによる森林整備活動に関すること
- イ 自然再生に関すること
- ウ 森林環境教育支援活動に関すること
- エ 情報の発信に関すること

（3）懇談会委員

- ・北出 昭（毎日新聞社大津支局 記者）
- ・久山 慶子（フィールドソサエティー 事務局長）
- ・山下 宏文（京都教育大学 社会科学科教授）
- ・八代田 千鶴（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所 生物多様性研究グループ 主任研究員）

（4）令和5年度運営推進懇談会実施概要

第1回運営推進懇談会を、7月20日（木）、近畿中国森林管理局（桜ノ宮合同庁舎）において開催しました。

懇談会では、令和4年度事業実施状況及び評価、令和5年度活動予定について、各担当者から説明を行い、各委員との質疑応答を行いました。

専門委員からは、箕面体験学習の森について「ゾーニング毎の整備方針は長期的なものをたてるのか」「遠足として活用してもらえないのか」、防鹿柵の補修や特定外来種の駆除について「イベントとしてではなく計画的に実施すべき」、繁殖力の強い外来植物は「調査と並行して逐次駆除するのが望ましい」、森林環境教育手引書について「小中学校編として範囲を広げては」「イベントで配布しては」といったご意見、ご助言をいただきました。

専門家委員からいただいたこれらのご意見やご助言を踏まえ、実施可能なものから取り組むこととしています。

また、令和6年度については、委員の皆様からのご意見を踏まえ、箕面国有林において開催することとしています。

2 取組一覧・連携一覧

(1) 森林環境教育関係

各種事業を通じて、森林環境教育等の普及・技術提供・情報発信に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
2023/6/22	近畿大学生国有林視察案内	大学生等	箕面国有林
2023/7/7	第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業（Ⅲ）検討委員会	検討委員会委員	箕面国有林
2023/7/20	箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会	懇談会委員	近畿中国森林管理局
2023/8/6	カブトムシ里親まつり（飼育編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
2023/10/15	近畿大学中高大連携 森林学習プロジェクト 「みのお Forest Walk」	大学生等	箕面国有林
2023/10/15	カブトムシ里親まつり（放虫編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
2023/10/17	YMCA学院高等学校へ出前授業	高校生	大阪市内
2023/12/10	カブトムシ里親まつり（植樹編） （NPOクワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
2024/2/7	第2回「箕面体験学習の森」育成・活用事業（Ⅲ）検討委員会	検討委員会委員	箕面国有林
2024/2/18	日本ボーイスカウト大阪第71団CS隊の体験活動	小学生	局
2024/2/22	新森小路小学校へ森林教室	5年生	大阪市内
2024/3/1	東市小学校へ森林教室	5年生	奈良市内

(2) シカ被害対策関係

シカ被害対策を通じて、自然再生及び多様な生態系の維持に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
2023/5/25	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
2023/9/24	箕面の森シカ害対策研究フォーラム	大阪府猟友会箕面支部、 明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	箕面文化・ 交流センタ ー
2023/10/27	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
2023/12/25	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会箕面支部	箕面国有林
2024/2/15	箕面国有林シカ被害防止対策 情報交換会	大阪府猟友会箕面支部、 明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会（大阪 府、箕面市、森林ボラン ティア団体外）	

(3) 地域等との協働

地域・NPO団体等との連携を大切にして活動しています。

年月日	内 容	参加者	場 所
2023/4/20	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 97 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外）	箕面市役所
2023/5/18	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 2023 年度（令和 5 年度）総会	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会（大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外）	箕面市役所

2023/5/18	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第98回例会)	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会(大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外)	箕面市役所
2023/6/13	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (幹事会)	大阪府北部農と緑の総合事務所、大阪府池田土木事務所、箕面市外	箕面市立 市民会館
2023/6/26	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (総会)	大阪府北部農と緑の総合事務所、大阪府池田土木事務所、箕面市外	箕面市 消防本部
2023/7/20	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第99回例会)	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会(大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外)	箕面市立 市民会館
2023/8/18	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (第2回幹事会)	大阪府北部農と緑の総合事務所、大阪府池田土木事務所、箕面市外	書面開催
2023/9/21	明治の森箕面自然休養林管理 運営協議会 (第100回例会)	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会(大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外)	箕面市役所
2023/10/19	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第101回例会)	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会(大阪府、箕面市、森林ボランティア団体外)	箕面市役所
2023/10/12	明治の森箕面国定公園マナーア ップ推進パトロール	大阪府北部農と緑の総合事務所、大阪府池田土木事務所、箕面市外	箕面国有林外
2023/11/3	山とみどりのフェスティバル	みのお山麓保全委員会	龍安寺 前広場

2023/12/2	第 20 回箕面の山大掃除大作戦	箕面の山パトロール 隊、箕面市不法投棄防 止対策連絡会、明治の 森箕面国定公園保護管 理運営協議会外	明治の森箕面 国定公園
2023/12/21	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 102 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市立 市民会館
2024/2/15	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 103 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面文化・交 流センター



令和5年度 職員名簿

令和6年3月31日現在

上席自然再生指導官（所長）

岩本 英世

自然再生指導官（自然再生担当）

田上 富二男【令和6年4月1日 転出】

係員（森林ボランティア担当）

水野 日向子【令和6年4月1日 転出】

係員（森林環境教育担当）

善田 衣莉





林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号 近畿中国森林管理局内

電話：050-3160-6745 FAX：06-6881-2055

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

E-mail kc_fureai@maff.go.jp

この「年報」は上記アドレスに掲載していますので、ご覧下さい。

